

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 4 月 28 日

都道府県知事

郡山市長 殿



提出者

住 所 東京都中央区京橋1-19-11

氏 名 株式会社NIPPO
代表取締役社長 和田 千弘
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3563-6751, 024-954-4067

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

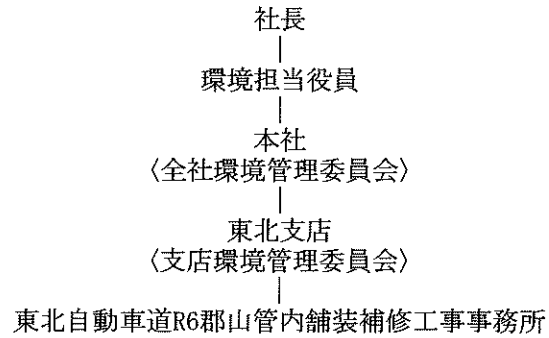
事業場の名称	株式会社NIPPO郡山管内舗装補修工事事務所
事業場の所在地	福島県郡山市富久山町久保田字石堂67-5 ニューパークサイドビル602
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	¥151,000,000
③ 従業員数	6名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・道路舗装工事 がれき類（アスファルト塊、コンクリート塊） →再生処理業者に委託して 再生骨材、再生路盤材として再資源化

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出量	9387 t	t
	(これまでに実施した取組) ・再資源化が可能な再生処理業者に委託し、最終処分率を低減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出量	4000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今年度も、上記取り組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類をアスファルト塊、コンクリート塊ごとに分別を行った。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今年度も、上記取り組みを継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	9387 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	9387 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・再資源化が可能な再生処理業者に委託し、最終処分率を低減。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	4000 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4000 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・今年度も、上記取り組みを継続する。		
※事務処理欄			